

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名：保塚地域学習センター

指定管理者名：株式会社 グランディオサービス

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
2. 施設・設備の維持管理	15	15	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
4. 図書館運営	33	33	32
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		18
合計	188		169

総合評価基準

A+	100～95点	優れている
A	94～86点	
A-	85～80点	
B+	79～75点	適正である
B	74～66点	
B-	65～61点	
C	60点以下	改善を要する

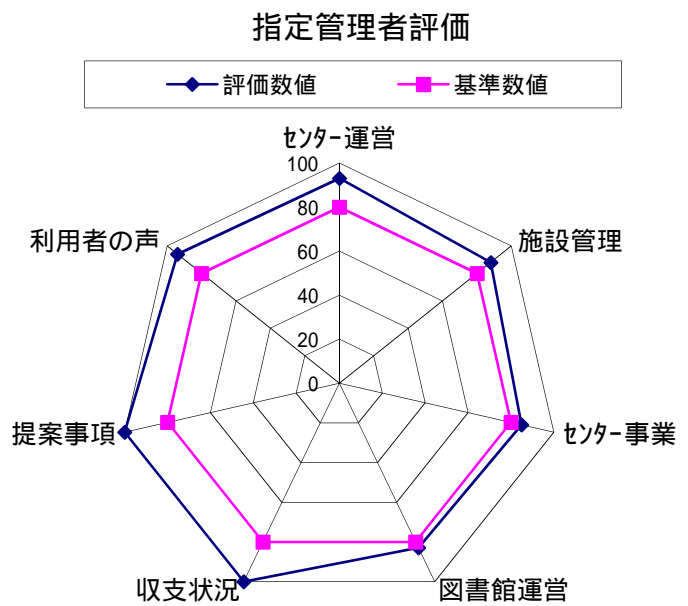
評価点(100点満点)
(評価委員会得点合計 ÷
配点合計 × 100)

総合評価

89

A

総合評価レーダーチャート



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年2月15日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名: 保塚地域学習センター

項目	指定管理者自己評価	評価委員会評価
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 現状に満足することなく高い水準でサービスが提供できるよう、スタッフ一同高い志をもって業務に向き合い、システム事故・クレームのない安定した運営が行えるよう努めている。 また、複合館との連携を密にして、事故及び災害発生時には迅速にセンター全体として取り組める体制を整えている。	【所見】 窓口受付業務については窓口の整理整頓、スタッフ間の情報共有など適切に対応している。複合館ということで区民事務所、住区センターとの調整があるかと思うが、連絡を密にすることでスムーズな運営につなげている。
	得点 30	得点 30
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 施設の老朽化に伴って随所に経年劣化がみられるものの、全スタッフが危機管理意識高く業務にあたることで設備の異変を敏感に察知し、迅速に対応することで安全かつ安心して利用できる環境を整えている。さらに施設全体として美化に気を配り、気持ちよくセンターをご利用いただける環境作りにも注力している。	【所見】 不具合が生じた箇所について迅速な報告と小破修繕で対応できるものについて適切に対応している。駐車場については台数も少なく、複合館で利用者も多いと思われるが定期的な見回りを通じて適切な管理を行っている。
	得点 15	得点 15
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 「子どもの居場所づくり」や「ボランティア活用」を充実させるために、地域住民との連携を強めていくことに注力した一年であった。結果、多くのボランティアの協力で子ども達に様々な学びや体験の機会を提供でき、地域との絆も深めることができた。今後は地域を愛する心を育めるような地域密着型の事業を展開していきたい。	【所見】 事業についてはフリースペースや体験型講座、出張講座などを行っており、適切に計画・実施されている。ボランティアの活用も徐々に実を結んでおり、今後も積極的な活用と育成を期待する。継続して行っている「赤ちゃん＆キッズのクリスマスイベントワールド」は来場者の声をうまく反映させることで、前年度よりも満足度の高いイベントになっている。
	得点 30	得点 30
4. 図書館運営 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 「保塚寄席」や「おはなしキャラバン」などで、多くの来場者を得られた。館内の椅子の配置や、こまめな声かけなどで館内環境の向上に努力している。ピブリオバトルなど、新たな取り組みを通じて、読書推進活動を一層進めることができた。今後は、この方向を継続し、より良い地域の情報拠点として価値を高めていきたい。	【所見】 年間を通して安定した業務運営がなされていた。職員の定着とスキルアップの結果と認められる。都立図書館主催の児童研修に不参加であったが、受講は必要である。 文学サロンの一環として開催された「保塚寄席」と、「ピブリオバトル」は利用者の増加とティーンズ層の掘り起こしにおいて評価できる。
	得点 33	得点 32
5. 会計事務 配点 6	【所見】 学習センター・図書館の経理担当が本社経理担当との連携を密に行い、適正に処理している。出納簿へのこまめな記入・確認をおこない、さらには複数人によるチェック体制を確立し、迅速かつミスや漏れのない的確な会計処理が行えている。さらに光熱水費の使用量も昨年度より減少することができ経費節減となった。	【所見】 会計事務について適切に処理されている。今後も光熱水費削減のための工夫、ミスのないチェック体制作りなどに注力してもらいたい。
	得点 6	得点 6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 すでに達成できた項目は引き続き維持できしており、提案書の内容を安定して遂行できている。今後、未達成の項目を着実に実行していくとともに、利用者のニーズに応えられるよう、創意工夫をして、魅力あるセンター運営を行っていきたい。	【所見】 事業計画・提案書共に概ね達成できている。未達成項目については実現できるよう計画していくことを期待する。
	得点 12	得点 12
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 講座毎に実施するアンケートや「意見箱」に寄せられた声にとどまらず、受付等に寄せられた些細な声も記録に残している。それらを参考に改善を行うなどしてセンター運営に役立っていることが、利用者の方の満足度を上げることにつながっていると考える。 講座の満足度も97%と高い評価を得ており、多くの利用者に支持されている。	【所見】 利用者アンケートの満足度も非常に高く、センターとして魅力的な事業企画、施設運営に取り組んでいる。引き続き利用者のニーズをうまく取り入れながら、より多くの方が利用できるような環境づくりを期待する。
	得点 18	得点 18
得点合計		169